

「湊川短期大学 人間生活学科・人間健康専攻 専攻科長 山田哲也教授 国際会議で受賞」



2016年9月1日～3日タイ王国で開催された国際会議 International Conference on Science, Technology & Education 2016 において、湊川短期大学教授の山田哲也氏が STEM 教育の教材の考え方や教育方法を具体的に示した内容が高く評価され、Best Paper Award(最優秀論文賞)を受賞されました。STEM 教育は Science, Technology, Engineering, Mathematics の理系教育の総称ですが、従来の科学

教育などをとらえ直し、新たに教育の体系化を図る動きです。オバマ大統領が STEM 教育を優先課題の一つとしたことからアメリカ政府の国家的戦略となっています。日本においてもスーパー・サイエンス・ハイスクール (SSH)、中高生の科学研究実践活動推進プログラムなど理科教育・科学技術教育の充実を進めているほか、世界的にも大きな広がりを見せています。

今までは科学的な教育が実社会とうまくリンクしていない・つまり、科学知識が様々な技術向上に貢献しにくかった点を見直そうとする世界的な動きの中で、山田先生の受賞は大変意義あることだと感じます。おめでとうございます。



附属保育園キッズポート「運動会」



10月8日(日曜日)附属キッズポート保育園(馬越美佳園長)で第15回運動会が行われました。リオデジャネイロオリンピック開催を祝って園児たちが紙製の聖火を聖火台に灯すことから始まり、開催種目もオリンピックを意識した種目が行われました。

保護者のみなさんも参加する競技もあり、園児たちと一緒に楽しい一日を過ごしました。特に園児によるリレー走では抜きつ抜かれつの熱戦でしたが、後ろを走っている仲間を気遣いながら走る姿が微笑ましい光景でした。



三田松聖高等学校「デジタル地球儀導入」



三田松聖高等学校では、恵まれた自然環境の中にあっても常に世界的視野(グローバル化)で生徒たちの安全を見守っています。今年度導入されたデジタル地球儀「触れる地球」は現在の地球の気象変動・地震・津波をはじめ、大気汚染物質の広がり・森林火災・海面温度の変化などが様々な研究機関の協力によって直径約85センチの地球儀に刻々と映し出されます。生徒たちが変化する地球環境を見、様々な過去のデータをリアルに再現することでより正確な情報を得られるようになりました。教育と安全は学校の基本と考え、県内学校では初めての導入です。